



かさばり
重ね梁

杉並区^{しもいぐさ}下井草5丁目にありました。
昭和48(1973)年に杉並区に寄贈され、平成元(1989)年、郷土博物館の敷地内に移築する際、建築当初の状態に復原されました。間取りの形式や構造などから、建築年代は^{かんせい}寛政年間(1789~1800年)と推定されています。

篠崎家は下井草村の平均的な本^{ほん}百姓層^{びやくしよう}の農家でした。当住宅は、武蔵野平野部の古い開発村の典型的な農家の住宅として、重要な意味を持っている文化財です。土日祝日の午後には、いろりに火を入れてお客様をお迎えしています。



いろり

きゆうしのざきけじゆうたくおもや
旧篠崎家住宅主屋
杉並区指定有形文化財(建造物)